

ぐるり30

～自治調査会だより～

2015
7

NO.022

[発行日]
2015.7.1



【写真提供】大島町 【撮影場所】トウシキ海岸《最終ページでご紹介しています!》

▶ 調査研究結果発表シンポジウムのお知らせ 自転車のチカラでまちづくり!～マナーから地域活性化まで～…	2	・ 広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介 ……	6
▶ 平成26年度 調査研究報告書の紹介 「自転車とまちづくりに関する調査研究報告書」…	3	多摩・武蔵野地域家庭訪問型子育て支援事業 —パパママ支援講演会— 第8回西東京音楽祭in東久留米	6
▶ オール東京62市区町村共同事業みどり東京・温暖化防止プロジェクト ・ 八王子市「2015八王子環境フェスティバル」…	4	▶ TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ ……	6
・ 立川市「立川市環境フェア」…	4	▶ 編集後記 ……	7
・ 瑞穂町「第6回残堀川ふれあいイベント&ふれあいウオーキング花苗配布事業」	4	▶ とっておきスポット～“ココ”で存じますか?～大島町 ……	8
▶ 多摩交流センターだより ・ 多摩発・遠隔生涯学習講座…	5		
・ 東京雑学大学8月講義案内 ……	5		

Contents

7月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

平成27年度（公財）東京市町村自治調査会
調査研究結果発表シンポジウムのお知らせ

自転車のチカラで まちづくり！

～マナーから地域活性化まで～



参加
無料

当調査会では毎年度、市町村の自治に関する調査研究を行っています。

今年度は、昨年度に行った「自転車とまちづくりに関する調査研究」（調査研究の概要は次ページ）の成果を踏まえて、下記の日時・会場にて『自転車とまちづくり』の現状と今後のあり方を考えるシンポジウムを開催します。

シンポジウムの内容は本紙6月号（No.21）でも予告しましたが、今月号では詳細をお知らせするとともに、参加者を募集します。参加希望の方は、下段のシンポジウム参加申込要領によりお申し込みください。

日時：平成27年7月22日（水） 13:00～16:00（12:00～受付）

当日プログラム

- 基調講演
「**自転車をまちづくりに活かす ～その基本と実践～**」
古倉宗治（株）三井住友トラスト基礎研究所 研究理事
- 調査研究結果発表①
「**多摩・島しょ地域の自転車利用や自治体施策の現状と将来見通し**」
阿部剛志 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 主任研究員
- 調査研究結果発表②
「**多摩・島しょ地域の自転車まちづくりのキーポイントと将来像**」
石田一博（公財）東京市町村自治調査会 調査部研究員
- 自転車ライフの紹介&実演
「**カラダとココロに効く自転車のとっておきの魅力**」
絹代 サイクルライフナビゲーター
- パネルディスカッション
「**多摩・島しょ地域における自転車とまちづくりの豊かな未来像を語り合う**」
古倉宗治（株）三井住友トラスト基礎研究所 研究理事
絹代 サイクルライフナビゲーター
肥塚由紀子 東京グレートサイクリングツアー 代表
前野真和 金沢市都市政策局交通政策部歩ける環境推進課 主査
阿部剛志 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 主任研究員（※コーディネーター）

会場案内

府中グリーンプラザ（けやきホール）

〒183-0055 東京都府中市府中町1-1-1

TEL：042-360-3311（代表）

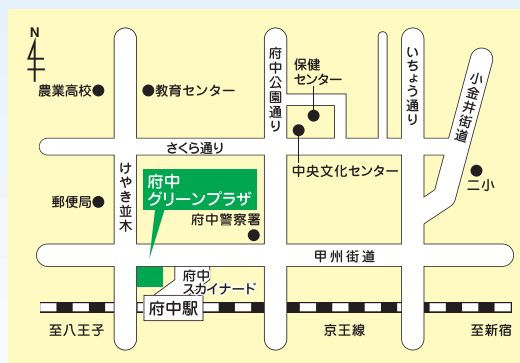
■京王線利用の場合

府中駅下車徒歩1分
新宿から約25分

■JR中央線利用の場合

武蔵小金井駅または
国分寺駅下車
府中駅行バス終点 徒歩1分

【ご注意】当施設には駐車場がありません。
公共交通機関をご利用ください。



シンポジウム参加申込要領

参加申込書の内容をFAX、またはハガキでお送りください。（ホームページURL：<http://www.tama-100.or.jp/>からもお申し込みいただけます）
締め切り（必着）：平成27年7月10日（金）（申込多数時抽選）

参加 申込書	参加者1	お名前：	TEL：
		ご住所：	
	参加者2	お名前：	TEL：
		ご住所：	

ハガキ送付先：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-25-6 ジンフラット3F
（株）ディヴェーション内 調査研究結果発表シンポジウム事務局 宛

FAX送付先：03-6804-6582

●多摩・島しょ地域の市町村職員は、東京都市町村職員研修所（各自治体の研修担当）を通じてお申し込みください。

●当選のお知らせは参加証の発送をもって代えさせていただきます。（7月17日（金）までに発送予定）

●当日受付にて「参加証」をご提示の上、ご入場いただきます。

問合せ先：調査研究結果発表シンポジウム事務局 TEL：03-6804-6583（平日10:00～18:00）

平成26年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号(No.20)で概要を紹介した平成26年度の調査研究報告書のうち、5件の単年度調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介していきます。今月号では、前頁に掲載した「調査研究結果発表シンポジウム」のテーマとしている、「自転車とまちづくりに関する調査研究報告書」を紹介します。

本報告書は、当調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)にてダウンロードできます。

自転車とまちづくりに関する調査研究報告書

1 背景・目的

自転車は、全国で約7,000万台が保有されており、環境・観光・健康など様々な分野でまちづくりへの活用の可能性がある一方、安全利用との両立が課題となっています。

本調査研究は、多摩・島しょ地域における自転車利用状況や先進事例を調査し、今後の「自転車を活かしたまちづくり」のあり方や方法論を示すことを目的として実施しました。



2 多摩・島しょ地域における自転車の利用状況と今後の見通し

- ・多摩地域は平坦な土地で走行しやすく、東京圏のなかでも比較的活発な利用状況
- ・多摩・島しょ地域住民の半数近くが「週1回以上」自転車を利用
- ・少子高齢化で利用者数は今後「通勤・通学」が減少し「高齢者の買い物」が増加

3 自転車とまちづくりの展開方法

(1) 自転車とまちづくりの留意点

先進事例をもとに、「走行空間」「政策分野」「推進体制」の3つの視点から、10点の自転車とまちづくりの留意点を整理しました。

また、市町村が事業を計画する際に、各留意点を初動期から取組拡大期までの時間軸上で整理するためのモデルを提示しました。

【自転車とまちづくりの留意点】

	初動期	計画検討・ 策定期	事業実施期	取組拡大期
A 走行空間	A1 スポットで試行 A2 客観的事実の把握・活用	A3 段階的なネットワーク化		
B 政策分野	B1 目的を絞る B2 分野連携を意識 B3 計画期からの住民参加			
C 推進体制	C1 警察や道路管理者との目的共有	C2 「促進策」と「抑制策」の所掌を分ける	C3 官民実行組織設立と継続の情報発信	C4 政策立案に注力できる体制づくり

(2) 多摩・島しょ地域における「自転車とまちづくり」の3つの提言

① 「にぎわいづくり」×「買い物自転車の適正利用」

- ・商業施設の至近への駐輪場整備を社会実験として実施
- ・交通安全講習の受講者への駐輪場の優先利用権付与など複数の政策面から実施

② 「地域コミュニティの醸成」×「子ども・高齢者の事故削減」

- ・学区道路の危険箇所点検のワークショップを交通安全講習に先立ち実施
- ・事故数減などの有効性が認識された段階で、通行環境整備などを計画的に実施

③ 「インバウンド観光による産業振興」×「広域での通行空間整備促進」

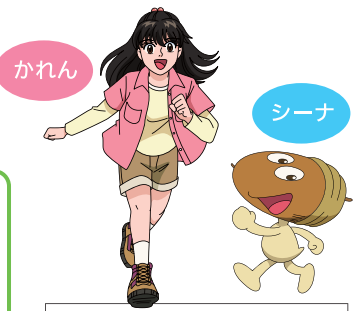
- ・ガイドによるサイクリングツアーなどを官民連携で実施し利用者の評価を調査
- ・インバウンド観光向けに、ルートを明示するサインを統一化・ネットワーク化



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」では、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。今月から、多摩・島しょ地域全39市町村の助成金活用事業を順番に紹介していきます。



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



八王子市「2015八王子環境フェスティバル」

八王子市では、本年6月6日(土)に21回目となる「2015八王子環境フェスティバル」を八王子駅北口周辺、南口周辺にて開催しました。「はちおうじの環境をみる・きく・考える」をメインテーマに掲げ、市民一人ひとりの環境に対する意識の高揚、及び市民の自発的な活動の促進を図ることを目的に、毎年環境月間の6月に開催しているイベントです。市民団体・企業・学校・行政が環境に関する体験・展示型ブースを60以上出展した他、様々なイベントがステージ上で行われました。

【問合せ先】八王子市環境政策課 電話:042-620-7384



立川市「立川市環境フェア」

市民団体や事業所が行政と協働して“子どもたちに体験を通して環境について考えてもらうきっかけをつくる”ことを目的としたイベントで、6月7日(日)に立川まんがぱーく大市と合同で開催しました。スローガンは『こどもの未来へエコライフ』です。

お手玉を使った昔遊びやどんぐりなどの自然素材の工作教室、環境にやさしい製品を紹介する団体などが出展しました。

また、全体企画として、環境かるた大会やバイオマスフィルムでつくったポンチョを被って手作りの竹の水鉄砲を使った水鉄砲合戦なども行いました。

【問合せ先】立川市環境対策課 電話:042-528-4341



瑞穂町「第6回残堀川ふれあいイベント&ふれあいウォーキング花苗配布事業」

五月晴れの5月10日(日)に一級河川「残堀川」の最上流部にある「狭山池公園」を主会場に今年で6回目となる「残堀川ふれあいイベント&ふれあいウォーキング」が開催され、多くの催し物や出店に大勢の来場者が春の一日を大いに楽しんでいました。

その中で、今回も本助成金を活用し、緑化推進のPR活動として、花苗を約5kmのコースを完歩した老若男女の多くの参加者に配布することができ、大変喜ばれました。

今年はこの他にも本助成金活用事業として、秋にも町内各地への花植えや「産業まつり」会場でも花苗の配布を予定しています。

【問合せ先】瑞穂町建設課 電話:042-557-7659





多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会 共催

後援：武蔵野市教育委員会



7・8月開催予定の講座案内

137回

日時 平成27年7月9日(木) 14:30から約1時間
題名 男のおしゃれ～ダンディ
講師 佐々井 啓氏(日本女子大学名誉教授)
内容 現在、男性のおしゃれについて「ダンディ」という言葉が使われている。その由来は、19世紀初頭のイギリスで成立したものであり、それまでのフランスの影響を脱して、イギリスのウール地を使った男性のスーツの仕立てや着こなしに、洗練された美を見出したので

ある。それは、目立たず、さりげなく、最高の素材と技術によるものであり、今日までその精神が受け継がれている。

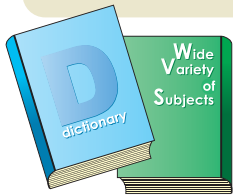


138回

日時 平成27年8月13日(木) 14:30から約1時間
題名 江戸城天守を再建しましょう
講師 太田 資暁氏(認定NPO法人江戸城天守を再建する会会長、元東京海上あんしん生命社長)

- 受講料** 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場** 多摩交流センター 第2会議室(申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場** 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について**
多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 080-3427-9848(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

8月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は8月13日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第999回 ※	8月13日(木) 14:30から	江戸城天守を再建しましょう	太田 資暁氏 (認定NPO法人江戸城天守を再建する会会長、 元東京海上あんしん生命社長)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1000回	8月16日(日) 13:00から16:50	開学20周年記念特別講演会 (講義1000回記念) 人生100年時代の「男の生き方・女の生き方」 アトラクション「和太鼓演奏」 (田無申弥鼓)	「最後まで自分らしく生きましょう」 堀田 力氏 (さわやか福祉財団会長、弁護士) 「長寿社会のパイオニアとして」 樋口 恵子氏 (東京家政大学女性未来研究所所長・ NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
第1001回	8月20日(木) 14:00から	西郷隆盛の魅力と生き方	小牧 完次氏 (元ビジネスアーティスト、キャリアカウンセラー)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1002回	8月27日(木) 14:00から	老舗企業と日本の美学	横澤 利昌氏 (亜細亜大学名誉教授、ハリウッド大学院大学教授)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。

※第999回は、第138回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

多摩・武蔵野地域家庭訪問型子育て支援事業 —パパママ支援講演会—

日時 平成27年7月11日(土) 10:00~12:00(開場9:30~)
場所 東小金井マロンホール(東小金井駅開設記念会館)(JR東小金井駅南口徒歩5分)
内容 ~みるみるママたちが元気になる?!ホームスタートの秘密~

・第一部基調講演 ホームスタートジャパン理事
 孤立感・孤独感を感じながら育児をしている「孤(こ)育て(そだて)ママ」に一番最初の応援ができる「ホームスタート」という制度があります。「先輩ママボランティア」と一緒に家事や育児をしながら、話を聞いてもらうことでママたちがみるみる元気になる?!その秘密を明かします。
 ・第二部活動紹介 ホームスタートが元気にしたママたち
 「ホームスタート」という制度を利用することで、元気になるのは利用ママだけではありません。質の高いボランティアに携わる先輩ママもエンパワーメントされます。当事者たちの生の声をお届けします。

入場料 無料(当日先着30名)
主催・問合せ NPO法人ファミリーステーション・SACHI 東京都小金井市前原町3-41-26 泰成ビル203号室
 TEL/FAX 042-316-7861(担当:高橋)
 e-mail : info@sachimama.jp HP : http://www.sachimama.jp/



第8回西東京音楽祭 in 東久留米

日時 平成27年8月1日(土) 13:00~20:30(予定)
場所 成美教育文化会館(1Fグリーンホール)(西武池袋線東久留米駅北口 徒歩5分)
内容 多摩地域をアートの香り漂う地域にしたい!そこで一念発起して始めたのが、この「西東京音楽祭」です。年齢・性別・プロ・アマ問わず、ジャンル問わず、多摩地域に縁のある方ならどなたでもご応募いただける音楽祭です。
 これまでも北は群馬から南は沖縄まで、上は80歳から下は6歳まで、幅広い層の演奏家たちに出演していただきました。ジャンルを問わない音楽祭のため、日頃顔をあわせない人たちが情報交換したり、仲良くなって一緒に演奏を始めたたり、様々なドラマを生んでいます。

入場料 無料
参加費 3000円(1人当たり)
主催 西東京音楽祭実行委員会
問合せ TEL 080-6597-2410(老後悔いなし西東京)担当:木村
 e-mail : onsenmura@com.home.ne.jp
 HP : http://nishitokyoongakusai.jimdo.com/



TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第102回

能「安達原」にみる 能と心理療法

【内容】 能と心理療法。このふたつは一見すると関わり合いのないもののように見えます。しかし人の心を扱うという点で共通点を見出すことが出来るのです。私は平成25年2月より京都大学大学院教育学研究科の大山准教授そして坂井先生・富松先生と共に日本人の心の深層が描かれた能を心理療法の視点から読み解いて来ました。今回、私どもが3月にドイツ・ボン大学の招へいで講演した内容を再構成し、能「安達原」を通して参加者の皆様と共に日本人の精神性について考えてみたいと思います。

【講師】 青木 健一 氏
 (公財)梅若研能会所属、観世流シテ方準職分、(公社)能楽協会会員、東京藝術大学邦楽科助手を務める。

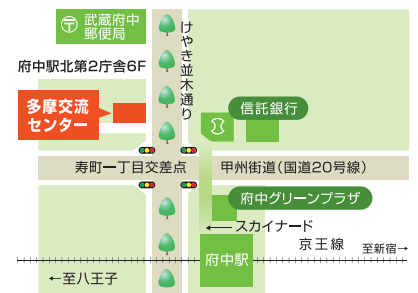
【日時】 平成27年7月19日(日) 14:00~16:00
【場所】 多摩交流センター会議室
 京王線府中駅北口 府中駅北第二庁舎6階
 (府中市寿町1-5-1)
【申込方法】 当日会場にお越しください。
 先着50名までとさせていただきます。
【受講料】 無料
【問合せ先】 多摩交流センター内
 TAMA市民塾 TEL 042-335-0111

「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第二庁舎6階
 TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127 Eメール tama001@tama-100.or.jp
 ホームページ http://www.tama-100.or.jp/ (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



大國魂神社 ↓ ご注意: 駐車場はありません。

2015年市町村振興宝くじ 公益財団法人 東京都区市町村振興協会 **7月8日(水)** 同時発売 発売期間: 7月8日(水)~7月31日(金)
抽せん日: 8月11日(火) この宝くじの収益金は区市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

7等・前接賞合わせて7億円
7千万

夏だ! 祭りだ!
大盤振る舞い!!



編集後記

- 皆さん、お気づきでしょうか?
ぐるり39の「表紙」と最終面の「とっておきスポット」は、夏季には、東京の島しょ町村を紹介しており、美しい島の景色が紙面を飾ります。
この時期は、島を堪能する絶好の季節です。皆さんも夏休みの旅行先リストに加えてみませんか。
- さて、話は海から山に変わります。
観光地として風光明媚な景観や温泉など豊かな恵みを与えてくれる日本の山々ですが、昨今、日本列島の火山活動が活発になっていることが気になります。
一昨年(平成25年11月)から今日まで続いている小笠原西之島の噴火に始まり、昨年秋に多くの犠牲者を出した御嶽山や今年に入り嚴重な警戒が続いている箱根大涌谷、更には、全島民が避難した口永良部島や6年ぶりの浅間山噴火などの状況は、ニュースでも大きく報道され、日本中が注目しています。
気象庁はこれまでの教訓を活かし、きめ細かな情報を発表するようになっており、各地の噴火警戒レベルが詳細に伝えられていることも、日本全体の火山の活性化を肌で感じる一因となっています。
- 昨夏に、東京都市長会の研修に同行し、市長の皆さんと山梨県富士山科学研究所で東大名誉教授・火山噴火予知連絡会会長の藤井敏嗣所長の講演を聞く機会がありました。
講演では、首都圏に影響する火山は箱根山、浅間山、富士山があげられました。当時は一般の人はあまり注目していなかった

箱根山についても注視しており、改めて地道な専門研究の重要性と、研究者の慧眼に気づかされました。

- 箱根山の6万5千年前の大噴火では、軽石流が遠く横浜まで達しており、3千年前の噴火で芦ノ湖ができたということです。
また、富士山は過去3, 200年間に100回噴火しており、平均30年に1回噴火していた火山が、ここ300年休んでいる、という衝撃的な話がありました。
その一方で、噴火の8割は多摩地域には大きな影響を及ぼすことのない小規模なものであるということも聞くことができました。
- 関東地方において想定される富士山などの周辺の火山噴火災害は、気候や電子機器への影響もあるものの、自治体としては、降灰の重みによる構造物の倒壊への対応や道路などに積る灰の除去と仮置き場の確保が、まず考えられるという話でした。
- 東日本大震災から4年が経過し、早くも災害の風化が懸念され始めています。
歴史から学べば、今世紀こそ地震・火山噴火などの自然災害に十分に警戒し、対策を怠ってはいけない時期に当たっているということです。
「災害は、忘れたころにやってくる!」という格言をかみしめ、一人ひとりが、いつ災害が起こっても適切に対応できるよう、日頃から備えることがなにより大切です。

(M.N)

